

公開講座



ー障害者芸術支援を通じた共生社会の実現に向けた取り組みー

R8.11.14 [sat]
10:00-12:00

『One line artist

曽良貞義の歩みとその表現世界を探る』

講師 | 曽良貞義・曽良智美・大西暢夫(写真家・映画監督)・
二村元子(TASCぎふ)

場所 | 岐阜大学教育学部附属特別支援教育センター
2階研修室 〒501-1193 岐阜市柳戸1-1

共催 | 公益財団法人岐阜県教育文化財団 岐阜県障がい者芸術文化支援センター[TASCぎふ]
社会福祉法人岐阜市社会福祉事業団 生活介護事業所アートフィールド

後援 | 岐阜県教育委員会・岐阜市・岐阜市教育委員会

11月9日(月)までに下記のメールまたはFaxでお申し込みください。

定員
70名様
入場無料
要申込み

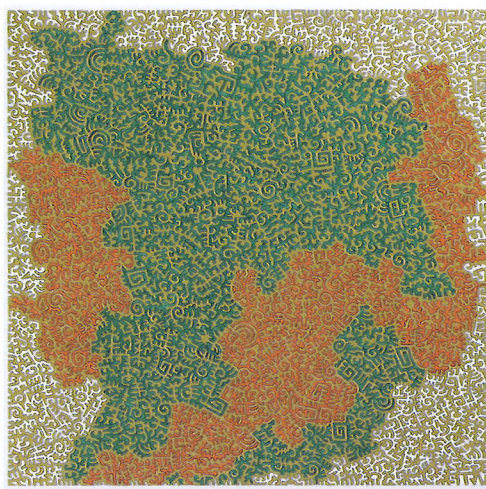
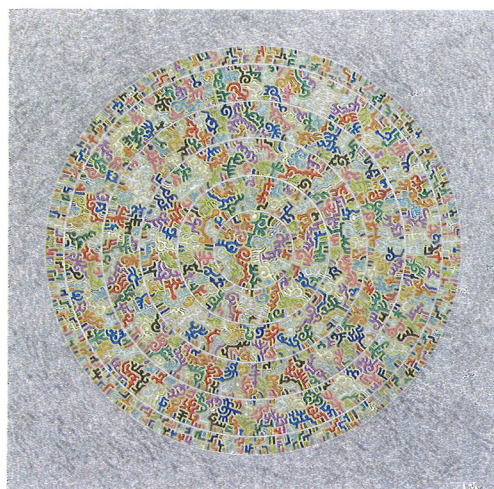
お問い合わせ・参加お申し込み

東海国立大学機構 岐阜大学教育学部附属特別支援教育センター

TEL 058-293-2350 FAX 058-293-2355 e-mail : ssec@t.gifu-u.ac.jp

公開講座

定員
70名様
入場無料
要申込み



ー障害者芸術支援を通じた共生社会の実現に向けた取り組みー

R8.11.14 [sat]

10:00-12:00

『One line artist

曾良貞義の歩みとその表現世界を探る』

岐阜大学教育学部附属特別支援教育センター 2階研修室
〒501-1193 岐阜市柳戸1-1

曾良貞義氏は、シャープペンシルやカラーボールペンを使用して、始まりと終わりが一本の線でつながるONE LINE ARTを制作する画家で、岐阜県を代表するアールブリュット作家として知られています。本講座では、岐阜県障がい者芸術文化支援センターTASCぎふの二村元子さんにファシリテーター役をお願いし、氏の創作活動を支える妻の智美さんとともに、自身のアールブリュット作家としての歩みをお話していただきます。それを受けて、全国のアールブリュット作家を紹介する写真展で曾良貞義・智美夫妻を紹介し、氏の作品が広く知られるきっかけをつくられた写真家・映画監督の大西暢夫さんにコメントしていただきます。精神障害をもちながらアートによる社会参加にチャレンジし続けている曾良貞義氏の創作者としての歩みから、当事者の内面にある思いや願いについて学び、共生社会の実現のために大切なことについてみなさんと考える公開講座にしたいと思います。あわせて、10月13日(火)から11月21日(土)の期間中、岐阜市社会福祉事業団生活介護事業所アートフィールドのギャラリーにおいて『曾良貞義 ONE LINE ART展』が開催され、同場所において11月14日(土)午後2時より(公開講座終了後)、曾良貞義氏による公開制作と交流イベントを行う予定です。たくさんの方のご参加をお待ちしております。

11月9日(月)までに下記のメールまたはFaxでお申し込みください。

曾良 貞義

1976年生まれ、愛知県出身。2012年、双極性障がいと診断され、ある日自分が衝動的にノートに描きだした絵を見た瞬間、それが進化しながら迫ってくる未来の絵のビジョンが脳内に降りて、突如絵を描き始める。現在はシャープペンシルやカラーボールペンや筆ペンを使用して、始まりと終わりが一本の線でつながるONE LINE ARTを制作するアーティストとして活躍中。数多くの作品展に出展の他、ドキュメンタリードラマや映画に出演。自分の魂の感じるままに、独自の技法でONE LINE ARTを描いている。岐阜県下呂市在住。

主な経歴 2018年「第20回遊朴館公募展・飛驒を描く」遊朴館賞受賞。2019年「清流の国ぎふ芸術祭・第2回ぎふ美術展」自由表現の部入選。2020年「岐阜県芸術文化顕彰・奨励 表彰式」奨励受賞。2021年「清流の国ぎふ芸術祭・第3回ぎふ美術展」自由表現の部優秀賞受賞。2022年「Relation : Art Brut ～写真家大西暢夫がとらえたアール・ブリュット展」出展〔長野県・岐阜県・埼玉県・山梨県・東京都・滋賀県〕。2023年「富田望生の日日は芸術」TV番組出演(NHK・NHKBSプレミアム・BS4K)、「つなぐアート展」(名古屋市・ぎふ清流文化プラザ・岐阜県庁・十六銀行店舗巡回)。2024年映画「日日芸術」に出演(全国映画館にて上映)。2026年「第7回ぎふ美術展」自由表現の部入選。

大西 暢夫

1968年生まれ。岐阜県池田町出身。東京総合写真専門学校を卒業し、写真家・映画監督の本橋成一氏に師事。29歳で独立。その後、フリーカメラマンに。日本最大のダム建設に翻弄される岐阜県徳山村をはじめ、全国各地のダムに沈む村の取材を同時に始める。ほかに精神科病棟に長期入院する患者さんや、東日本大震災、障害者施設や職人など、根底には、『衣食住』をテーマにしている。そのほかにもドキュメンタリー映画も制作している。現在は、雑誌連載、映画制作、執筆など。2025年日本写真協会賞文化振興賞、第72回産経児童出版文化賞大賞、受賞。

お問い合わせ・参加お申し込み

東海国立大学機構 岐阜大学教育学部附属特別支援教育センター

TEL 058-293-2350 FAX 058-293-2355 e-mail : ssec@t.gifu-u.ac.jp